

情報検索指導法の研修に高まるニーズ

満員札止め、熱気と満足、もっと関西で開催を！

演題：情報検索指導における良い例題・悪い例題《初級編》

～素材を集め問題を作り要点を説明する方法～

講師：仁上幸治（早稲田大学図書館） 日時：2006年3月18日(土) 10:00-12:10

会場：キャンパスプラザ京都 参加者数：154名

【3】記述内容

* 原文のまま。総合満足度別(Q1)

Q1. 今回のセミナーに参加して良かったですか？ 講演の印象

5点

- ・ 2時間あっという間にすぎるほど、内容が実践的で参考になりました。
- ・ 4月のオリエンテーションで話す内容などのイメージがわいた。
- ・ 飽きのこないセミナーだと思いました。
- ・ 今ちょうど新入生ガイダンス用のプレゼン資料を作成中なのでとても参考になりました。
- ・ 今までの講演会の反省点に気づくことができた。
- ・ 印象に残るセミナー
- ・ 大いに刺激を受けた。
- ・ 大いに刺激を受けました。今後のサービスに活かせるヒントが多く、参考になりました。
- ・ 面白いです。
- ・ おもしろかった
- ・ おもしろかった(笑えた)
- ・ 面白かった。利用者の気持ちで聴いてしまいました。
- ・ 面白かったです。
- ・ 面白くためになる。
- ・ 共感
- ・ 興味深い
- ・ 興味深い内容だった。
- ・ 興味深い内容でした。
- ・ ぐいぐいとお話に引き寄せられる、大変楽しいセミナーでした。ありがとうございました。
- ・ 具体的、実践的な内容で良かった。
- ・ 具体的な例題作成の手順を教えていただき、大変参考になりました。
- ・ 具体例を示しながら説明され、これからのオリエンテーション、講演会で活かせる内容で有意義であった。
- ・ 講習会のヒントがたくさんありました。
- ・ 今後役に立つ情報盛りだくさん
- ・ こんなに参加者が多いとは思わなかった！
- ・ 参考になりました(情報検索演習の非常勤講師として)
- ・ 時間の使い方がうまい。
- ・ 刺激的で興味深かった
- ・ 事前に仁上先生の論文を読んだので参加だったが、より具体的で参考になった。
- ・ 自分にもできそう！！
- ・ 授業の参考にしたい。
- ・ 初心者に等しい状況で難しかったですが...
- ・ 知りたいことを次々に答えてもらえて大変有意義でした。
- ・ 新入生オリエンテーションを控えているので大

- 変参考になりました。
- ・スピード感がある。
 - ・スライドショーとははじめにおっしゃっていた通り、魅せる講演会でした。「視覚」の大切さを実感しました。
 - ・スライドに集中できて説明が簡潔でわかりやすかったです。
 - ・セミナー内容は興味深かったのですが、スライドの文字が見にくかったのが残念です。
 - ・退屈しない内容だった。
 - ・大変面白かったです。ありがとうございます。
 - ・大変興味深かったです。
 - ・大変参考になりました。
 - ・大変内容が深く、楽しいセミナーでした。
 - ・大変良かったですし、共感できました。
 - ・楽しい
 - ・楽しかった。
 - ・楽しく学べました。
 - ・短時間で内容盛りだくさん。
 - ・テンポが良くて楽しい。
 - ・東京以外で実施したことが最も良い点です。5点です。
 - ・とても印象に残りました。最後までひきつけられるセミナーでした。
 - ・とても楽しかったです。
 - ・とてもテンポがあり理解しやすくよかったです。
 - ・何を参考に指導力を高めていけばよいかかわかり、良かった。
 - ・話が聞きやすく、印象に残るばかりでした。
 - ・パワーポイントを活用されていて、視覚的に印象に残りました。
 - ・非常に聞きやすく、時間を短く感じました。
 - ・ヒントも多く大変参考になりましたが、この時間に対して内容が豊富すぎる感じがしました。2～3回くらいに分けてもらえばよいと思います。
 - ・まさにライブ感覚（予備校での授業を受けている感覚もあった）。あと自分はここまでプレゼンできていないと少しへこんでしまいました。
 - ・全く「悪い例」そのもののような例題を使っていたことが判明。春に予定している講習会。
 - ・魅せられました。
 - ・密度の高い内容でした。
 - ・目からウロコでした。
 - ・目からウロコです。本当に来てよかった！！
 - ・もっと時間があればよいのと思えるくらい良かったです。
 - ・もとは取れた！楽しかったです。
 - ・もりだくさんでしたがわかりやすかったです。
 - ・要領がよく、わかりやすい。（少々速かったのですが）
 - ・よかった。
 - ・良かった。おもしろかった。
 - ・良かったです。時間が早く過ぎました。
 - ・良かったです。速すぎると気にしておられましたが、ダラダラしたものよりテキパキしていいように思います。
 - ・予想通り満足。
 - ・わかりやすかった。目からウロコのことたくさんあった。
 - ・わかりやすく「コツ」という視点がはっきりしていて勉強になった。
- 4点
- ・ライブ感のあるセミナーでした。
 - ・良かった。
 - ・豊富
 - ・勉強になりました。
 - ・プレゼンテーションの楽しさ、アクセスアプローチを重視する、ポータルサイトから検索させるなど、発想の転換、参考になりました。
 - ・半分は確認した。半分はできるだけすぐ取り入れたいと思う。
 - ・なるほど！
 - ・導入の方法が素晴らしい。
 - ・テンポよく、飽きさせない。
 - ・楽しくお聞きしましたが、自分ができるかは不安です。

- ・大変わかりやすい説明でした。
- ・退屈させないように工夫が凝らされていた。
- ・早大のレベルの高さがわかりました。各データベースの検索方法について教えていただければよかったですと思います。
- ・スマート
- ・最初のとっかかりが大切だと思いました。
- ・これほど充実しているとは思わなかった。遠方から来た甲斐があった。
- ・現実的にコツをとらえられて面白かった。
- ・簡潔
- ・おもしろくてためになった。
- ・面白い。内容盛りだくさん。でも速い。
- ・おもしろい

3点

- ・既成概念を捨てる。柔軟な発想が必要。

Q2. 例題作りの発想を「聞き手本位」に変えようという講演の趣旨に全体として賛成ですか？

5点

- ・私が聞き手ならそうしてほしいと思うので。参加しよう、聞こうと思う。
- ・例題の目的は聞き手が成長することにあるため、自然なベクトルだと思います。
- ・利用者のための講演会だから。
- ・利用者に満足してもらえなければ意味がない。
- ・利用者にあった内容をできるだけ使う。
- ・利用者が理解し、利用者自身が効果的な検索ができるようになるため。
- ・利用者あっての図書館なのだから。
- ・利用者あっての図書館だと思うので、利用者主体で考えていくのは当然だと思います。
- ・利用者あっての図書館だから。
- ・最も基本的で重要なことですが、なかなか実現していないので。
- ・魅力ある講演内容にする必要性を感じるから。
- ・まじめにきっちり話さなければいけないような

気がしていたが、まず図書館に好感をもってもらうことが重要だと思ったので。

- ・久々に聞き手に回り、非常に受け止めやすかった。
- ・図書館側の自己満足に陥らないために
- ・図書館員はひとりよがりになりがち（自己満足）
- ・図書館員のひとりよがり気をつけるべき。
- ・とくに新入生などに図書館は退屈ではないという印象を持ってもらうのに良い。
- ・当然の考え方だと思う。
- ・誰のための利用者教育か...
- ・ソースアプローチからプロセスアプローチへの流れを考えると、聞き手本位にならざるをえないだろう。情報源の羅列だけではだめというのは強く実感している。もっとも、教える立場としては大学の非常勤講師で教えているだけなので、聞き手の感覚がつかみにくいのが難点。
- ・選択の方法が多種多様になっている現在、合理的であると思います。
- ・セミナー内容に興味を持ってもらうことが大切だと思うので。
- ・積極的に聞いてもらえる。
- ・初心者と指導者の間の知識のギャップに常に敏感でいる必要がある。
- ・情報検索を行うのは聞き手 = 利用者なので、その立場に立って行うことがうまく理解へとつながっていくと思われるから。
- ・受講者が関心を持ち、楽しいものである必要がある。
- ・授業計画においても同様だと感じます。
- ・自分だったらそうしてほしい。
- ・自分が作っていた例題が「ELS から画面コピーがとれるから」という図書館本位の考え方だったということに気づきました。
- ・知ってもらいたい部分はこちらのスタンスが必要。
- ・実際に利用するのは図書館員ではないから。
- ・親しみやすい例題で学生の注意をひきつけ、いねむり防止にも最善の策だと思うため。

- ・自身，図書館をよく利用しているため。
 - ・賛成です。
 - ・サービスの基本であるのに忘れがちな点であるから。
 - ・これまで図書館側の立場で実施してきた。
 - ・講習会，オリエンテーションで退屈そうな学生が多くいたから。
 - ・現在のオリエンテーリングに求められているスタンスだと思います。
 - ・興味をもってもらわなければどうしようもない。
 - ・興味を持ってもらえないと使ってもらえないから。
 - ・興味をもってくれるので。
 - ・興味を持って聞いてもらいたい。
 - ・興味をもたせる。
 - ・興味のある内容でなければ学生は最後まで聞かないから。
 - ・今日の講演がわかりやすかったので賛成です。
 - ・聞く人に伝えたいことなので。
 - ・聞き手本位。女子学生にとって不愉快なのはやめましょう。セクハラみたいのはやめましょう。仁上先生はよかった。
 - ・聞き手本位（使う人本位）が理想。聞き手として本日は感動いたしました。
 - ・聞き手の立場に立って考えない限りは理解してもらえないと思うので。
 - ・聞き手に理解，受け入れてもらえなければ意味がないと思うから。
 - ・聞き手によかったと思ってもらえなければ意味がないから。
 - ・聞き手に関する話題でないと興味を持たないし，図書館に期待しないと思うから。
 - ・聞き手が聞いて身につけないと意味がないと思うので。
 - ・聞いてもらえなかったら図書館への関心そのものが下がってしまうと思うので。
 - ・聞いている方が実際にやってみることができるのが大切だと思うから。
 - ・学生が飽きずに聞けるセミナーにしたいと思
- ます。
- ・大まかな部分では賛成です。プラス，マナー講習的な要素もいれていかなば…。
 - ・いくら話しても理解してもらえなければ意味がない。そのためには聞き手本位にすべきでしょう。自己満足にしないために。
 - ・あたりまえ。
 - ・相手の興味に合わせた素材集め，オリエンテーションの方法など自館でも非常に有効だと思うお話の内容だったので。
 - ・相手に理解されないのだったら意味がないと思うので賛成です。
 - ・「こんな例題を作った」という自己満足のレベルで終わっていたように感じる。
- 4点
- ・わかりやすさを実現できた上で，わかりやすければいいというわけではないことも教育の場では気をつけるべき。
 - ・レファレンスサービスだから当然。大賛成！！
 - ・利用者に伝達できているか，いつも不安だから。
 - ・理解が深まる。
 - ・やはり関係のないことに興味を持たない学生が多いです。
 - ・役に立つ！と思ってほしい。
 - ・慣れていないので戸惑いはあったが。
 - ・図書館は利用されてはじめてその役割を果たすので，利用する人のための講習会なら聞き手本位が当然です。
 - ・図書館の私でも「何これ？」と全然興味がわからない例題が今まで多すぎた。
 - ・でないと学生がついてこない。
 - ・伝わらなければ意味はないと思うから。
 - ・だれのために実施しているのかを考える。当然だと思います。
 - ・そのような講演会をやってある程度成功したため。
 - ・初心忘るべからず。全く賛成です。
 - ・初心者でも理解できる手段をとる方が定着する

と思われるため。

- ・情報検索をするのは聞き手の学生だから。
- ・聞き手に伝わらないと意味がない。
- ・ガイダンスそのものが面白くないものなので、せめて例題で興味をひかせる。
- ・相手にわかってもらわなければ意味がない。

3点

- ・なし

Q3. 自館(自分)でもぜひ取り入れてみたい改善策のヒントがありましたか？

5点

- ・悪い例を良い例に変換するというのが目からウロコでした。
- ・レジュメを後で配る。
- ・リアル主義に走らないこと。プレゼン(オリエンテーション)ではスライドを使う(わざわざ実践しない)。
- ・来年度より本格的に利用者教育をスタートさせるので、全般的に参考になりました。
- ・よりベストなデータベースで短時間に検索するポイント。
- ・もっとスライドの文字を減らす。いま作成中のものを見直したいと思った。
- ・無駄に画面コピーのスライドを使わない(検索画面など)。映像を使う。
- ・魅力あるスライド作り
- ・マンネリ化している利用者教育(初級)の改善の参考にします。
- ・ポータル紹介。
- ・ポータルサイトを活用する。動画をプレゼンに入れる。自信を壊す例題を作る。これらのことに挑戦したいです。
- ・ポータルサイトの利用。OPAC だけじゃないという案内。
- ・ポータルサイトの利用。
- ・ポータルサイトの積極的な紹介。

- ・プレゼンの方法全般
- ・びっくり大作戦
- ・ひきつけるテクニック。
- ・パワーポイントのファイル作成方法
- ・恥ずかしながら野口悠紀雄オンラインは知りませんでした。
- ・配付資料を後で配る。
- ・図書館のツールだけにとらわれない。オンライン書店や検索サイトなど図書館以外のツールも積極的に紹介する。学生を退屈させない、驚かせる内容にする。
- ・解けない例題を出すこと。目からウロコでした。
- ・導入部でのスライドショー。ポータルサイトの利用。
- ・動画や画像を使う。
- ・データベースの画面にこだわりすぎないこと。
- ・スライドの文字、強調など具体的な作成方法
- ・スライドの作成法など、後方の人に見えにくいというのは今日初めて気づかされました。改善したいと思います。
- ・スライドショーの上手な使い方
- ・スライドショーの印象づけ(画像の取り入れなど)
- ・すべてスタート地点から改善が必要。これから講習会の段階的ユニット作成の構想があるので取り入れたい。
- ・資料を横断的に紹介された点。インパクトの与え方の例。
- ・資料は最後に配り、説明時はスライドに集中させる。
- ・小学校図書館勤務のため、これまでできなかった。しかし教師向けオリエンテーションを考えてみたいと思った。
- ・旬の話題、例題を入れてみたい。
- ・旬の素材を利用する。
- ・受講者を眠らせない工夫
- ・自館 OPAC の説明のみにとどまらず、便利なツールをどんどん紹介しようと思いました。
- ・今後の情報サービスを進めて上で基本的な考え

方でいくつもヒントをいただきました。

- ・ 検索ツール，データベースを単に羅列して紹介するのではなく，各々の長所短所を印象づけながら順序立てて説明していく方法。
- ・ 現在，担当ではないので。
- ・ 聞き手への印象づけ，ひきこみ方など
- ・ 簡単な例題ばかりではなく，解くのが難しいものを取り入れて学習意欲を引き出す方法。
- ・ 画像・映像を取り入れ，興味を持ってもらうようにプレゼンしていきたい。
- ・ 学生にとって身近な面白い話題でまずはひきつける方法。
- ・ オリエンテーションと利用指導（館内案内）との別立て。
- ・ 驚きを盛り込むこと
- ・ 驚かす
- ・ 映像を取り入れる。
- ・ 映像や画像を効果的に取り入れる。
- ・ 映像の導入。利用者の自信を打ち砕く。検索テクニック。Amazonを紹介する。
- ・ 映像の使い方。検索の広げ方。誤りを効果的に利用すること。
- ・ 映像等
- ・ うーむ，オリエンテーションは印象づけにとどめて...なるほど！
- ・ 印象をもっと大事にしたいと思いました。
- ・ いろいろなデータベースを使って資料の情報を集めること。
- ・ 意外性と期待感をもたせるという点
- ・ OPACの弱点を利用するというのをやりたい。
- ・ OPACの検索の仕方，自館のシステムだけで完結しないという点が参考になりました。
- ・ 「見せる」のではなく「魅せる」ということ，若い利用者さんには必要だと思いました。
- ・ 「つかみ」の部分。図書館に行こうと思わせる刺激。でも一番難しいと思う。

4点

- ・ マディソン郡 郡

- ・ ポータルサイトを出発点とする検索。よりお徳感のある例題にすること。
- ・ ポータルサイトの利用。インターネット検索エンジンの万能性の概念を打ち砕くということ。
- ・ プレゼンの仕方（映像，緩急のつけ方）
- ・ プレゼンテーションの工夫。例の出し方。
- ・ 動画を使用する。
- ・ 動画。学生が食いつくようなもの。
- ・ 自信を打ち砕く点
- ・ 視覚化。ホームページとのリンク。
- ・ ご紹介いただいた3つのポータルサイト
- ・ 公共図書館でも利用者教育（指導）を開かざるをえない時代になった。
- ・ 画面をそのまま載せるのではなく，検索式は大きく表示する。
- ・ 画像などで興味をひく点。
- ・ 画像。ALAページを取り込む。
- ・ 映像資料
- ・ アマゾンの“郡”の方がNDL-OPACよりも速いというのはVivid。
- ・ VTRの導入。

3点

- ・ 動画。

Q14. もっと詳しく聞きたかった点

5点

- ・ 悪い例題と自分自身が思わない時，友人知人に聞く以外の検証方法。
- ・ レベル別
- ・ 例題の説明の仕方
- ・ 例題の紹介。おもしろかったので。
- ・ 利用者に講習会で参加させようという気持ちにさせるような広報について聞いてみたいです。
- ・ 利用者教育の初級が現在，委託業務になっている。全員のレベルの均一化など。
- ・ 毎年悩みながら，オリエンテーション，講習会を実施しています。授業に組み込まれた形で効

- 果的なものにしたいと思っています。講演会に出席できなくてもノウハウを受け取ってもらえるような広報の方法についても話していただける機会があればと思います。
- ・プレゼンでの禁句集の解説と、逆に「使うべき言葉」の解説（配付資料の11ページ）。専門性を訴求（単なる広報ではなく）するための戦略（最後のまとめの話）
 - ・プレゼンテーションの方法。図書館職員としての効果。データベースの活用法。
 - ・発達段階（高校から大学へ、大学入学時と卒論作成時）に応じた留意点
 - ・入学時（オリエンテーション）、春期、秋期など、実施時期別・対象利用者別の実施内容の詳細な例。サービス案内、OPAC（学内資料）検索、学外資料検索など、どのレベルまで、どの時期まで行っているか。
 - ・内容を自分で理解するので精一杯でした。
 - ・図書館職員の教育、研修方法
 - ・特に新生向けオリエンテーションの実態について学生の態度も含めてもっと知りたかった。
 - ・中級編
 - ・大変参考になりました。ありがとうございました。
 - ・大学では授業を担当する教員とのタイアップが必要となります。利用教育において教員とのタイアップは今後どう進めるべきか？
 - ・素材の見つけ方
 - ・先生の講演に対する学生の具体的な感想、意見。
 - ・スライドショーの作り方を具体的に。
 - ・スライドショー作成のテクニック。プレゼンテーションのテクニック。
 - ・進むスピードが速かったので、全般的に詳しく聞きたかったです。
 - ・人文、社会系。大学生全員に紹介したいホームページ。無料データベース。
 - ・授業（シラバス）の扱いやフリーの講習会など、位置づけについて
 - ・指導法については特にありません。
 - ・実際に講習会で使われている例題をもっと知ることができればよかったです。
 - ・質疑応答の中で答えられていた早稲田のオリエンテーションの実例のお話しをもっと伺いたかったと思います。
 - ・最後のもっと変わらなければということにその通りだと思いました。県財政が厳しいので、図書館が県道の整備とお金を取り合うような状況が来るような気がします。文化行政の意味、県民にとってなぜ必要か、どんな良いことがあるか、図書館員が打ってでなければと思うのですが、自分の力不足を感じる人が多いです。
 - ・サービス系の仕事の経験が浅いので例題をもっと見たかったです。
 - ・この内容を3回くらいに分けてまたお聞きしたい。
 - ・講習会をする際の新生向け、院生・教員向けの違い、留意点など。
 - ・検索方法（参考図書やデータベースの効果的なピックアップ法）
 - ・検索実習の進め方など（全員が同時に検索する方法）。自習時間の問題集の作り方など。
 - ・検索サイトの比較。検索方法の比較。
 - ・研究面についてそれまでの調べ方、問題点、最先端の情報等を例題をもとに解説を聞きたかった。
 - ・結果、効果について（後で質問がありましたが…）。講習会やオリエンテーションを聞いた後の利用者からのフィードバックについて。
 - ・詳しく聞きたいというよりも、もっと多くの時間を割いてご用意していただいたすべてをお伺いしたかったです。
 - ・具体的な成功例を最初から最後まで通してみせていただきたいです。
 - ・今日は多くのネタをお聞きすることができて十分満足です。ありがとうございました。
 - ・聞き手別の魅せ方、信頼度の高いホームページの目安。
 - ・学生のニーズのつかみ方、個人を対象としたオ

リエンテーション（文献探索）の広報戦略。

- ・オリエンテーションや講座の内容配分
- ・Wikipediaについて。学生がこれをもとにレポートを書く人が多い。
- ・「図書館利用教育」といしながら，図書館を利用しなくてもよいみたいな方向はがっかりです。レファレンスブックの魅力は大いに重要。
- ・私のレベルではなかなかついていけなくて，すみません。例題というのは，答えが見つかることを前提にこういう工夫をすれば「見つかる」「見つかりやすい」ということで作成すると思いますが，実際にネットでも書籍でも絶対に見つからない情報があると思いますし，実際にそんなに簡単に見つかる情報ばかりでもないと思います。本当はそんなにうまくいなくて，自分でジタバタと試行錯誤でするしかないと思うのですが，その辺のところを伝えた方がいいのか，否か。それとも手段を駆使したら絶対に見つかるのでしょうか？根本的なところで疑問です。どんな手段より，となりのおっちゃんがよく知っているということが多いと思います。

4点

- ・作られたパワーポイントをすべて拝見したかったです。
- ・上級編（先行研究の網羅的調査，論文の影響評価）とかぜひ聞きたいです。
- ・旬の具体例。キーワードの具体例。
- ・受講生からのフィードバック（評価アンケート等）をどのように実施しているか？
- ・実際の例題
- ・時間が足りなかったので全部聞けなかった点。
- ・検索語へのアプローチ（工夫）
- ・オリエンテーションやOPAC講習会など具体的なテーマ別で。
- ・引用文献の探索のやり方
- ・一般住民のレベルに落とすと。一般住民にインターネットを使わせていない図書館では

3点

- ・なし

Q15. 講師への希望・助言

5点

- ・私も理系図書館でレファレンスを担当し，ガイダンスを行なっています。いろいろ参考にさせていただきます。
- ・例題をなかなか解けない学生への良いヒントの出し方なども教えていただきたいです。
- ・予告版，期待大です。ぜひ実現させてください。利用者の立場からの利用者教育という点にはすごく共感できました。これからもがんばってください。
- ・有意義な講演でした。ぜひまた同様の機会を。
- ・やはり少しスピードがあった。
- ・盛り込みすぎ。
- ・もっとじっくりお伺いしたかったです。
- ・冒頭の動画，画像には驚かされました。取り入れたいです。
- ・文系，理系など分野別の講習会もしていただくと助かります。
- ・プレゼンのお手本（特にパワーポイントの使い方）にさせていただきます。ありがとうございました。
- ・非常に多くの資料をありがとうございました。私のレベルではもう少しゆっくりと話してほしかったのですが，とても動機づけになりました。
- ・パワーポイントの作成方法や受けてのひきつけ方，ともに大変参考になりました。
- ・歯切れのよいお話で楽しく聞くことができました。ありがとうございました。
- ・とても勉強になりました（CiNiiに関しては雑誌記事索引にかわるものにとらえていましたが，ISSNで検索するとヒット件数が違うなど，気になる点があり，NIIに問い合わせしているところですが...）
- ・とても楽しく密度の濃い話をされていてあこがれました。私には早すぎたかも。

- ・とても楽しかったです。もっと長く、ゆっくりと時間を割いてセミナーをしていただきかったです。すごく短く感じました。ありがとうございました。
 - ・とても楽しかったです。
 - ・とても素晴らしいです。
 - ・トサケン、ぜひ実現してほしいです。講演ありがとうございました。
 - ・トサケン、参加します!!! 投稿します!!!
 - ・トサケン、参加したいです。
 - ・特にありません。
 - ・中級編
 - ・楽しかったです。
 - ・楽しい講習をありがとうございました。
 - ・大変参考になりました。ぜひ中級編も関西で講演をよろしく願います。ありがとうございました。
 - ・大変参考になりました。ありがとうございました。
 - ・大変貴重な内容と洗練された語り口でよくわかりました。論文を読んでいたイメージと実際に聞いていただいイメージが違いました。ライブで体験しないとわからないものです。
 - ・大学の授業科目としてこのような教育を実施することについてのお考え。
 - ・第2回、第3回とさらにお話を伺いたいです。
 - ・ぜひ今後もこのセミナーを続けて実施してほしい。
 - ・ぜひ関西学院大学でも講演をしてください。よろしく願います!
 - ・進行が少し速くてついていけないところあり。
 - ・ジェンダーに注目したのはとてもよい。
 - ・最近参加した講演会、セミナーでは最もわかりやすくて有用な内容と表現だったと思います。とても勉強になりました。ありがとうございました。
 - ・今後も京都にぜひいらしてください。楽しみにしております。
 - ・今後も関西での講演をぜひ願います。
 - ・今回はたいへん有意義な講演をありがとうございました。例題バンク、トサケンにぜひ参加させていただきたいです。
 - ・これからのオリエンテーション、講習会に活かしていきます。ありがとうございました。
 - ・午後の部も行なってほしかったです。
 - ・公共図書館でこれに類したことができないかとひそかに考えています。横浜市中央図書館が行ないはじめましたが、大都市の図書館ではぜひ企画し、実施したいと思います。そういう場合にさまざまなご助言をいただければと思います。
 - ・貴重なお話をしていただき、ありがとうございました。ぜひ参考にさせていただきます。
 - ・館種別にテーマを絞った講習をしていただけたらありがたいです。特に分野別に(人文科学系、自然科学系)、「医中誌データ」は初級編にしては少し専門的だったような気がします。
 - ・おつかれさま
 - ・ありがとうございました。やはりこれからはプレゼン力ですね。
 - ・ありがとうございました。
 - ・OPACのノイズの問題等については、1999年に拙稿ながら調査したのがあります。ILL申込調査については、青学大勤務時代に図書館をよく利用する研究室の申込書に限って修士論文の作成との関係を調査したことがある。
 - ・NIIの講習会以来、今回2回目です。とても聴きやすかったです。
 - ・「例題バンク」「パスファインダー」などの試みには非常に興味があります。まだ私自身から提供できるものはないのですが、何らかの形で協力できればと思っております。
- 4点
- ・悪い例題のみを出された本、教科書についてフォローしなくても平気ですか? 印象が悪いままかと思いますが、それは意図的?
 - ・やはり東京だけでやるのはもったいない! 少しでも裾野を広げるため、関西地区でもお願いし

たいと思います。

- ・とてもよい2時間でした。ありがとうございました。
- ・とても参考になりました。今後、本学図書館の講習会に積極的に取り入れたいと思います。ありがとうございました。
- ・トサケン、期待しています。Webベースの情報交換・集積はモデルとしては素晴らしいものの、実際にやろうとすると十分な数のアクティブな参加者を集めるのはなかなか難しいようです。その部分をどうクリアするのかにも興味があります。がんばってください。
- ・特になし。
- ・中級、上級コースを今後ぜひ。
- ・少し説明が速かったような気がしました。
- ・資料はやはり先に配ってください（心配するほど先読みとかしません）。
- ・講演内容自体にはうなずけますが、その上で、見た目のよいダイナミックなパワーポイントは「分かった気になってしまう」という面もあると思います。
- ・館種別（例：学校図書館、中学校ぐらい）
- ・おもしろかった。でも速かった。
- ・ありがとうございました。今日のセミナーを参考によりよいオリエンテーション等ができるようがんばりたいと思います。
- ・ありがとうございました。一度、早稲田大学での講習会を生で聞きたいと思いました。
- ・ありがとうございました。
- ・366 コマの説明をすべて聞いてみたい。

3点

- ・もう少し考える時間が欲しかったです。盛りだくさんな内容だったので、復習をがんばって今後有効利用したいと思います。

Q16. 今後の講演への要望

5点

- ・レファレンスカウンターだけでなく貸出返却カ

ウンターの講演会があれば助かります。

- ・例題バンク、非常に興味があります。ぜひ実現してください。
- ・予定されていた「中級編」、ぜひお願いします。
- ・やはり東京地区開催が多いのでよい。こういった機会があっても東京地区開催だとなかなか行けないのが残念です。
- ・また京都で開催してほしい。
- ・また関西でやってください。
- ・また関西でやっていただきたいです。
- ・本学のある京都での開催はありがたかったです。できましたら平日の開催を望みます。
- ・平日の夜ではなく、今回のような週末の日中の開催を希望します。梅田（大阪北）だと、なお良いです。私費での来阪とのこと、驚きました。参加費をもっと上げて良いと思います。受付にカンパ箱を置いていただいてもよろしいのでは。
- ・日図協は東京での研修ばかりで全く不公平。会費が同じなのが不公平。それで京都で開催したことを評価します。ありがとうございました。
- ・引き続き関西での開催をご検討ください。
- ・年1回関西（京都等）で。
- ・内容量に比べ時間が少なかった。トサケンに期待しています。
- ・図書館利用ということで、情報検索のほかにマナー講習的なものもしていただきたいです。
- ・東京で開催された内容と同じものを関西でも行なってほしいです。
- ・できれば東海地区で夏に。直接的に利用者教育に関わりませんが、図書館のホームページの作成テクニック（利用者が自立的に利用できるようなポータル構成、内容）
- ・中級編もよろしくお願いします。大阪でも開催してください。
- ・専門分野（理工系）の講習会の方法、レファレンスに関するセミナーを京都で希望します。
- ・ぜひ次回も参加させていただきたいと思います（関西のみですが）。

- ・ぜひ神戸，大阪でも。
- ・ぜひ関西へ。
- ・ぜひ関西でも引き続き実施してください。
- ・ぜひ関西でまた開催していただきたいです。来年以降も年3回のうち1回は関西での開催とのこと...楽しみにしています。
- ・ぜひ関西での開催を望みます。
- ・情報リテラシー大学版
- ・司書が一度職から離れていた人のための再教育の場についての情報が知りたい。
- ・自館で行なうガイダンス（利用方法，新入生対象の施設案内ツアー）をテーマにした講演会をお願いしたいと思います。
- ・次回も近々開催していただきたいです。
- ・次回も参加したいと思います（名古屋でも）中級編，分野別等々よろしく願います。
- ・今後もぜひ関西で開催していただきたいです。JLAの予算もぜひ付けていただければと思います。
- ・今後も関西でもやってください。
- ・今後も関西で続けて開催してほしい。
- ・今後も関西で。「違うのではないか？」は「ちゃうんちゃう？」かな。
- ・今回のテーマについて，2週に1回くらいの割合で半年間継続する講習会があればよいと思います。
- ・今回の続きである中級編，上級編について，関西でも開催していただきたいです。
- ・今回のシリーズの中級・上級編はぜひ配付資料通りのテーマで。パスファインダーの作り方もぜひ今後のテーマに（できれば学生に「作り方」を教えるためのコツも含めて）パスファインダーを作れるレベルまで司書課程の教育内容を高めたいとの思いがあるので。
- ・今回のご案内は，青学大万代記念図書館の山田様より頂きました。
- ・これまで東京でしかなかったこういう催しが関西で開かれることに価値があります。ぜひ継続してほしいと思いますし，また数を多くしてほしいと思います。
- ・子どもと多様なメディア，読書の問題。子どもにとっての情報リテラシー。もっと京都で開催してください。
- ・現職ではありませんが，自分で調べないといけないことが多々ありますので参加させていただきました。一般市民の教養として各地で開いてほしいと思います。
- ・京阪神地区での開催を多くしてください。
- ・京都もしくは関西でまた開催していただきたいです。
- ・京都で開催してください。
- ・京都駅前の今回の場所はとてもありがたかったです。今後もここでぜひ。
- ・京都。公共図書館の利用教育。
- ・機関デポジトリ。パスファインダー。Eラーニング。大学の中での図書館の位置づけをどう上げるか。
- ・企画，運営，準備，本当にありがとうございました。
- ・関西にもっと来てください！！「違うのではないか」は「ちゃうんちゃうか」ではないと思います。
- ・関西でやっていただければうれしいです。
- ・関西でもっと開催していただきたい。
- ・関西でもっといろいろなテーマでやってほしい。図書館運営法など。
- ・関西でも開催していただけるとうれしく思います。
- ・関西でまたぜひお願いします。
- ・関西での講演会を年2回くらいにしてほしい。
- ・関西での講演会，期待しています。
- ・関西での開催を増やしてもらえるとうれしいです。
- ・関西での開催を増やしてほしい。
- ・関西での開催を増やしていただければうれしいです。
- ・関西での開催をなるべく希望します。
- ・関西での開催を継続してもらいたいです。個人

情報を集める際の用途注記は一文だけでも付記したほうがよいと思います。

- ・関西での開催の機会をもっとお願いします。
- ・関西での開催がもっと増えればありがたいです。
- ・関西で実施していただけて本当によかったです。またぜひお願いします。
- ・関西で数多くお願いします。
- ・関西で開催されれば参加できるので、よろしくお願いします。
- ・関西で、平日の午前・午後の方が出張扱いでより多くの人に参加するように思うのですが。
- ・関西地区
- ・関西圏での開催。
- ・関西（大阪，京都，できれば奈良）で開催していただけると参加しやすくありがたいです。
- ・カウンターでの直接のサービスについて。
- ・4月からの利用者教育に向けて、あと1～2ヵ月早めに関西地区で開催されればありがたいかと思えます。
- ・2～3回の連続開催を望みます。

4点

- ・メールで参加申し込みをしたのに、名簿に入っていないのはどうしてでしょうか？
- ・また関西でもお願いします。
- ・日本海側。北陸，新潟でも。
- ・データベースについて
- ・ぜひ関西でももう一度お願いします。
- ・京阪神地域でお願いします。
- ・京都駅前の絶好立地は非常に魅力的です。今後も実施を希望します。あと、非会員向けに少しでもJLAのPRをすべきでは？
- ・京都駅近くは便利でした。ホームページの評価。
- ・関西での開催はありがたい。
- ・関西での開催，土曜日は良かった。
- ・関西で夏に1度開いていただきたい。
- ・関西でお願いします。
- ・大阪，京都，神戸で交互に少なくとも年1回の開催希望。

以上